

音声自動文字起こしサービス 技術評価採点基準

技術評価項目	配点	採点基準等	評価対象	評価手法
1.システムの性能	(50)			
1.1 正答率	50	10分程度の音源の議事録を作成し、正しく文字起こしされた単語数で正答率を算出する。	評価環境	①
2.加点事項	(20)			
2.1 サービスサイト上で、ピンポイントで指定した発言について、音声を聞き直しながら、テキストの編集作業ができること。	10		技術評価 依頼書	②
2.2 正しく文字化されなかった文字を修正したファイルを学習して、文字起こしの精度向上を図ることができる機能があること。	10		技術評価 依頼書	②
合 計	70			

<評価手法①>

1. 入札参加者が指定した評価環境に対し、県がテストデータを登録する。
2. 評価点は、正答率が50.0パーセントの場合に0点、95.0パーセントの場合に満点とし、その間の正答率に対しては按分した評価点を与える。ただし、正答率が50.0パーセント未満の場合は、失格とする。
3. 技術評価点の計算式は次のとおりとする。

$$(\text{正答率} - 50) \times 50 / 45$$
- 4 正答率について、計算結果に端数が生じた場合は、小数点以下第2位を切り捨てする。
 技術評価点について、計算過程の端数処理は行わず、計算結果に端数が生じた場合は、小数点以下第2位を四捨五入する。

<評価手法②>

県職員が内容を確認し、基準を満たしている場合に満点を与える。